



平成25年9月9日
海上保安庁

海図で見る被災地の今と昔 ～海洋情報資料館特別展示～

9月12日に第142回水路記念日を迎えるにあたり、「海図で見る被災地の今と昔」と題して、海洋情報資料館における特別展示を行います。

東北地方太平洋岸の港の歴史、東日本大震災で被災した港湾の復旧状況が一目でわかるよう、明治から昭和初期に刊行された貴重な古い海図が現在の海図と併せて展示されます。

9月12日は、我が国が近代国家として明治4年に海図の作成を開始してから、142年目の水路記念日にあたります。

海上保安庁では、東日本大震災で大きな被害を受けた東北地方の港湾について、港の復興に併せ、震災により変化した港の状況を調査し、海図に反映する作業を、現在も引き続き行っています。

第142回水路記念日に併せた今回の特別企画では、東北地方の被災港湾について、明治から昭和初期にかけて刊行された古い海図と、最新の調査により改訂された現在の海図を併せて展示します。

震災から2年半がたった今、貴重な古い海図と現在の海図を併せてご覧頂き、被災港湾の歴史、復興の今について思いを馳せて頂ければと思います。

1 主な展示

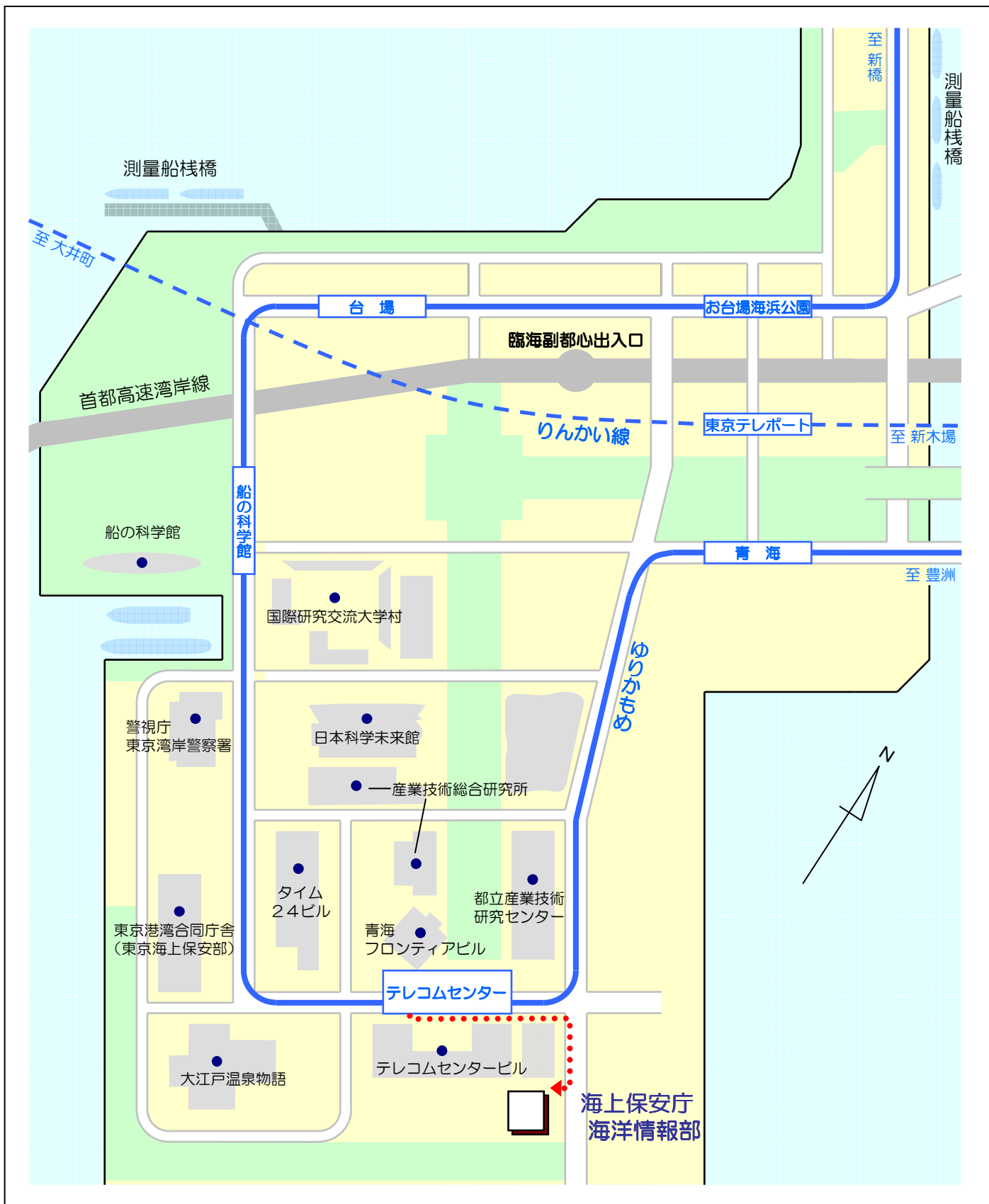
- ・陸中國釜石港之圖（明治5年刊行）
- ・陸中國宮古港之圖（明治5年刊行）
- ・陸前國石巻灣略測圖（明治10年刊行）
- ・牡鹿半島（大正14年刊行）
- ・大舟渡港及山田港（明治27年刊行）
- ・石巻灣至宮古港（明治37年刊行）
- ・陸前諸港湾（明治37年刊行）
- ・自東京海灣至金華山（明治33年刊行）
- ・金華山至津軽海峡（明治21年刊行）
- ・石濱及附近（明治35年刊行）

2 期間：平成25年9月11日（水）から10月11日（金）まで
（土曜日、日曜日、祝日を除く）午後1時～午後5時（入館無料）

3 場所：海洋情報資料館（海上保安庁海洋情報部庁舎1F）
東京都江東区青海2丁目5番18号（別図参照）

4 問い合わせ先：電話 03-5500-7139 海洋情報部企画課

※ 海洋情報資料館では、今回の企画展のほか、常設展示として、伊能図や歴史的な測量機器など、海洋調査等に関する貴重な歴史的資料がご覧いただけます。



海上保安庁海洋情報部

住所 〒135-0064
 東京都江東区青海2丁目5番18号
 国土交通省青海総合庁舎

交通 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩5分

「水路記念日」特別企画

入場無料

海図で見る 被災地の今と昔

実施期間 平成25年9月11日～10月11日

(土曜日、日曜日、祝日を除く)

実施時間 午後1時～午後5時

実施場所 海洋情報部1F海洋情報資料館



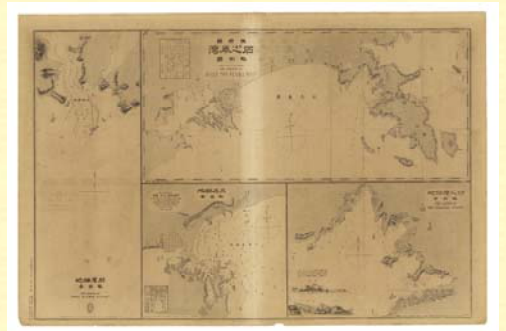
主な展示海図



■陸中國宮古港之圖(明治5年)



■陸中國釜石港之圖(明治5年)



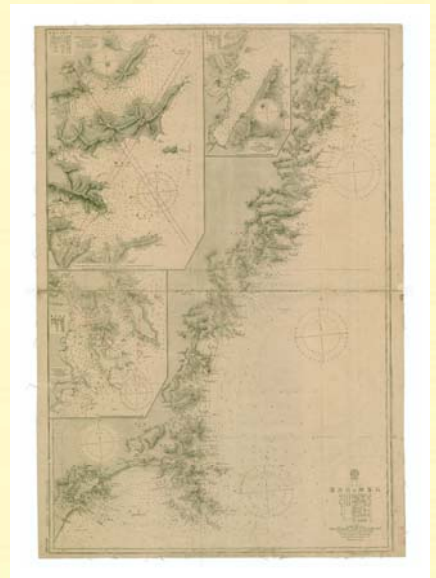
■陸前國石巻灣略測圖(明治10年)



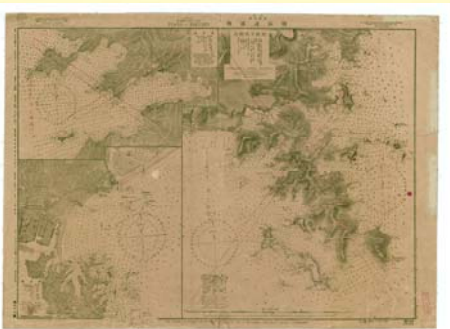
■牡鹿半島(大正14年)



■大舟渡港及山田港(明治27年)



■石巻灣至宮古港(明治37年)



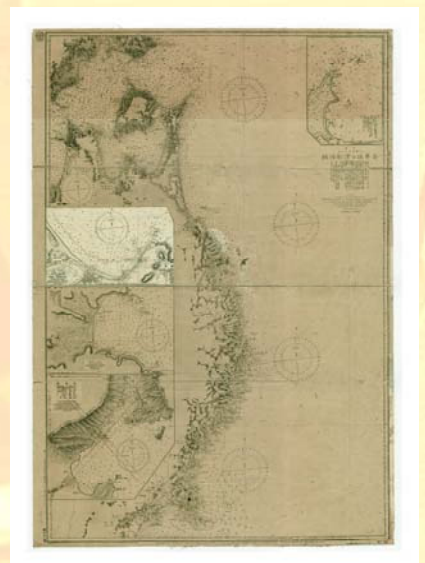
■陸前諸港湾(明治37年)



■自東京海灣至金華山(明治33年)



■石濱及附近(明治35年)



■金華山至津軽海峡(明治21年)